関経連NOW

新体制始動
連携・協力のウイングを広げて

2017年5月29日
関経連は第55回定時総会を開催。
第15代会長として
松本正義 住友電気工業社長が選任されるとともに
新しい委員会体制が発足し
2017年度の活動が本格的にスタートすることとなった。

創立71年目の関経連は、これまでの活動をさらにブラッシュアップし
関西の魅力や人材の強みを最大限に引き出すとともに
2019～2021年に控えるゴールデン・スポーツイヤーズや
2025年国際博覧会等を新たな成長産業の創出につなげるべく
産学官の連携のもと、関西から日本の未来を切り拓いていく。

関経連NOW —— 関経連第55回定時総会

松本会長 就任挨拶

ただ今みなさまのご推挙により、関西経済連合会の会長に選任いただきました。

わが国経済が引き続き大きな課題に直面し、世界の政治経済も時代を画するような変動要因を抱えているこの時期に大役を仰せつかり、重責を感じているところでありますが、これまでお世話になってまいりました関西に、少しでも恩返しができればと考え、引き受けさせていただきました。関西のため、日本のために、微力ながら全力を尽くしてまいる所存でありますので、みなさまのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

前任の森会長は、６年前、東日本大震災から間もない時期に着任され、復興支援に全力で当たられました。さらに中期目標をもって関西の将来について大きな方向性を示され、関西空港のコンセッション、関西イノベーション国際戦略総合特区や国家戦略特区、観光でのインバウンド拡大、リニア中央新幹線の開業前倒しや北陸新幹線延伸、そして、万博誘致への取り組みなど、関西の今後の発展に大きな足跡を残されました。森会長が築きあげられた路線を引き継ぎ、さらに発展させてまいる所存であります。

さて関経連は、昨年記念すべき創立70周年を迎えたわけでありますが、振り返ってみますと戦争の爪跡がいまだ残る昭和21年10月、戦災からの復興をめざし、産業人の自由なる創意と活溌なる活動を促進する機関として設立され、その後の関西、日本の目覚しい発展を先導してまいりました。企業は地域、社会、人々の繁栄発展のために貢献するという使命を担っているわけでありますが、関西には長寿企業が多く、江戸時代以来地域の発展に主導的な力を発揮してきたという伝統があります。また、常に新しいことに取り組む、新進の気風を諸先輩方が築きあげてこられました。このような基盤の上に立つ関経連として、関西、ひいては日本の発展に向けてのリード役となるような積極的役割を果たしてまいります。

関西の現状を見ますと、わが国経済の中で関西のウエイトが相対的に低下してきているという厳しい現実があります。一方で、明るい側面としては、インバウンド観光客の増加により関連する産業が活況を呈しております。また、関西空港、けいはんな学研都市など、過去に関経連が取り組んだプロジェクトが大きな力を発揮しはじめています。さらに、医療健康分野などで関西から新しい技術の芽が次々と生まれています。

こうした中、まずは現行の中期目標を基とした取り組みをさらに強化してまいりますが、その際に以下の４つの視点を重視したいと考えております。

はじめに「グローバリゼーション」の視点です。メガリージョンというかけ声の下で関西独自の魅力が埋没するようなことにならないよう、グローバルな視点で関西の強みをいかに磨き、アピールするかが大事であると思われます。その際、東京との比較で関西のあり方を論ずるよりも、むしろ、関西がアジア太平洋地域をはじめとする世界といかに結びつきを強め、世界での存在感を高めるか、いわば「ルック・ウエスト」「ルック・グローバル」の視点が求められていると感じております。

「地方創生」の視点では、関経連は長年、地方分権・道州制というテーマに取り組んできました。現在、人口減少が急速に進む中で地方のあり方があらためて問われておりますが、地域の個性が自由に発揮され、地域の活性化に結びつくような仕組みをめざし、わが国での地方分権の流れが定着・進化するよう、これからも積極的に意見交換、提言を行ってまいりたいと考えます。

「イノベーション」の視点では、すでに関西にはものづくりのしっかりとした基盤がありますが、他方でわれわれを取り巻く事業環境はIoT、AIなど新たな技術の流れもあり、激動期を迎えています。次の時代の関西の発展を支える新産業育成が必要であり、特定の一つの産業に依存するのではなく、

キラリと光る強みを持つ企業、産業がクラスター化し変化に強いネットワークが構築できる地域をめざしていくべきではないかと考えております。

「スポーツ」の視点では、2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2021年のワールドマスターズゲームズとスポーツのビッグイベントが目白押しです。これを契機に、スポーツで一人ひとりが健やかになることはもちろん、地域、経済も元気になるという文化を関西に根付かせたいと決意しております。

また、この４月に正式立候補がなされ、誘致活動が本格化しております万博につきましては、大阪・関西で開くことの意義・魅力を世界の多くの方に理解していただく必要があります。まずは来年のＢＩＥ総会で誘致を勝ちとれるように、大阪府、政府、経団連などと連携しながら、関西経済界として全力をあげて取り組みます。また、政府による制度設計が進められている統合型リゾート（IR）については、どのようにすればＩＲが関西の発展に最大の効果をもたらすのか、どのようにすれば負の影響を小さくし、人々の不安に対応することができるかをしっかり考えてまいりたいと思います。

以上に申し上げた取り組みを実り多いものとするためには、政府、自治体、さまざまな経済団体との連携を深めることが欠かせません。多くの力を結集して、政策実現のための実行力を高められるよう、連携・協力のウイングを広げてまいりたいと思います。また、すべての企業の総意を体現するため、会員を増やし、中堅・中小企業のみなさまにも幅広く参加いただけるようにしてまいりたいと思います。

私は誠心誠意・正々堂々の精神と無私の心とが大切であると考えております。これからも万事に精魂を込め、夢と希望にあふれた活力のある関西の創造をめざして精一杯取り組む覚悟でありますので、ぜひともご支援を賜りますよう重ねてお願いを申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

森会長 退任挨拶

この６年、会員のみなさまや関係する方々に支えていただいたおかげで、何とかここまで走りきることができました。心から感謝申し上げます。

この６年を振り返ってみますと、特区、健康・医療産業、インバウンド、関西ワールドマスターズゲームズ、リニア中央新幹線、そして万博の誘致など、どれも印象深いことばかりでありました。高速道路や北陸新幹線の整備にも進展が見られ、関西空港・伊丹空港の民営化もスタートしました。こうした成果を出すことができましたのは、官民、あるいは産官学が一体となったからこそ、と思っております。商工会議所や同友会との連携につきましても、同様であります。こうした成功体験は、関経連にとりまして大きな財産になったのではないかと思います。

世界の変化、社会の変化とともに、近年、関西の直面する課題は、多様化かつ複雑化しております。それとともに、産、官、あるいは学が単独で対処できることの幅は、相対的に狭まりつつあると感じております。したがって、関西がひとつにまとまることの重要性は、今後さらに増していくと思います。関経連には、関西のまとめ役として、いっそうの求心力を発揮し、関西を力強く引っ張ってもらうことを期待しております。

それともうひとつ、関経連に期待したいことがあります。それは、関西だけでなく、日本全体を見据えてもらいたいということであります。東京一極集中システムが限界を迎えつつある今、わが国経済を力強い成長軌道に乗せるためには、関西が成長のエンジンをふかすことが不可欠であります。また、関西が地域としての輝きを増すことができれば、全国の地方を勇気づけることもできます。地方創生は私たちの手の中にあると言っても、決して過言ではありません。

関経連は、創立以来、一貫して経団連とは独立した経済団体でありますが、そのことは抜きにしても、日本経済に対する大きな責任を負っています。その矜持を持って、関経連には、これからも、力強く、前に進んでいただきたいと思います。関経連は、この70年、降りかかってくるさまざまな困難を克服してきました。そしてさまざまな挑戦をして、関西から日本の未来を切り拓いてまいりました。そうした関経連のＤＮＡは、松本会長のもとで、いっそう強調されるものと確信しております。

最近は、自国中心主義の広がり、東アジア情勢の緊迫化など、また新たな困難が顔をのぞかせておりますが、恐れることはありません。松本会長のもと、会員のみなさまが一丸となって、関経連の歴史に輝かしいページを刻んでいただくことを、心から期待しております。

最後に、この場をお借りして、一言申し上げます。

関経連の事務局のみなさん、６年間、本当にありがとうございました。あなたたちがいたから、無事に、この日を迎えることができました。６年間、会長をやってみて分かったことがあります。それは、あなたたちの「関西を良くしたい、日本を良くしたい」という思いこそが、関経連の原動力だということです。それが表に出ることはなかなかありませんが、あなたたち、ひとりひとりのがんばりがなければ、さまざまな関経連の成果はなかったということを、少なくとも、私は知っています。これからは、松本会長をしっかりと支えてください。すばらしいリーダーである松本会長のもと、これからも、あなたたちの思いをかたちにしてください。

松本会長、会員のみなさま、そして事務局のみなさまの手で、関西の新しい扉が開かれますことを、大いに期待申し上げまして、私の退任の挨拶とさせていただきます。

あらためまして、この６年間、ありがとうございました。

2017～2018年度の事業推進体制

今回選任された副会長は14名。再任された10名に加え、八木誠 関西電力会長、木股昌俊 クボタ社長、園潔 三菱UFJフィナンシャル・グループ会長、真鍋精志 西日本旅客鉄道会長の４名が新たに選任された。

委員会体制については、2020年の関西の「ありたき姿」実現に向けて再編し、充実・強化をはかった。具体的には、関西の強みであるものづくり産業のさらなる発展に向け、活動内容が密接に関係する「科学技術・産業政策委員会」と「産業振興委員会」を統合し「科学技術・イノベーション委員会」を設置、最先端技術を活用したものづくり革新や新たな産業創出に向けた支援を強化する。また、「スポーツ振興委員会」を新設、2019～2021年に控えるゴールデン・スポーツイヤーズを見据え、関西のスポーツ振興および周辺産業の活性化に向けた戦略や産学官連携のあり方などについて検討を開始する。

2025年国際博覧会の誘致に向けては、事務局内に新たに万博推進室を設置した。今後、2025日本万国博覧会誘致委員会と力を合わせ、国内の機運醸成や海外PR活動を積極的に展開していく。

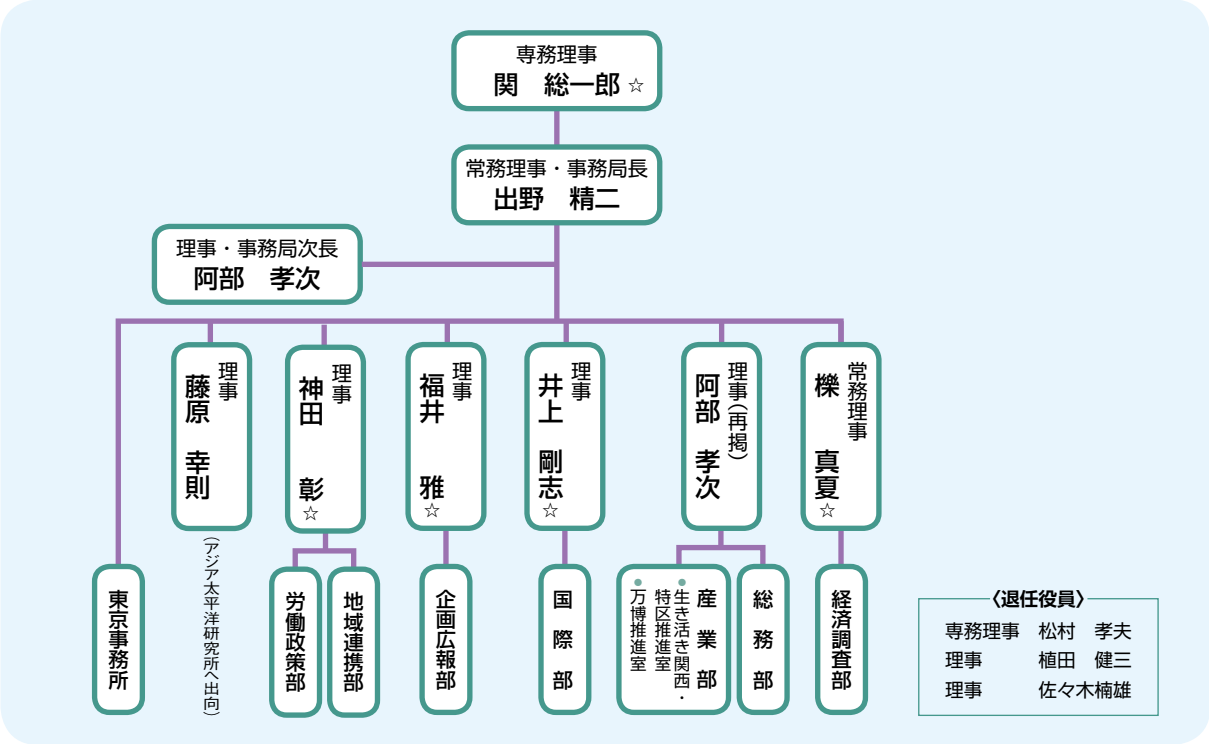
●副会長

（☆印は新任、2017年5月29日現在）

氏　名	担当委員会
井上　礼之 （ダイキン工業会長）	企業法制委員会
寺田　千代乃 （アートコーポレーション社長）	都市・観光・文化委員会
山口　昌紀 （近鉄グループホールディングス取締役相談役）	国土・広域基盤委員会
松下　正幸 （パナソニック副会長）	国際委員会
牧野　明次 （岩谷産業会長兼CEO）	スポーツ振興委員会 労働政策委員会 グローバル人材育成・活用委員会
大坪　　清 （レンゴー会長兼社長）	国際委員会
柏原　康夫 （京都銀行取締役相談役）	科学技術・イノベーション委員会
角　　和夫 （阪急電鉄会長）	都市・観光・文化委員会
佐藤　廣士 （神戸製鋼所相談役）	地球環境・エネルギー委員会 スポーツ振興委員会
大竹　伸一 （西日本電信電話相談役）	科学技術・イノベーション委員会 国土・広域基盤委員会
八木　　誠 ☆ （関西電力会長）	国土・広域基盤委員会
木股　昌俊 ☆ （クボタ社長）	科学技術・イノベーション委員会
園　　潔 ☆ （三菱UFJフィナンシャル・グループ会長）	経済財政委員会
真鍋　精志 ☆ （西日本旅客鉄道会長）	地方分権・広域行政委員会

●事務局体制

（☆印は新任、2017年5月29日現在）



●委員会一覧

（☆印は新任、2017年5月29日現在）

委員会とその所管事項	委員長・担当委員長・専門委員長・副委員長	
統括委員会 各委員会の重要事項の報告・調整等	委員長	松本　正義（関西経済連合会　会長）☆
経済財政委員会 財政再建・税制改革・社会保障制度改革の総合的検討・提言、金融・資本市場の活性化方策の検討、経済情勢・景気動向の実態把握と経済政策の検討・提言	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	池田　博之（りそな銀行　副会長）☆ 百瀬　裕規（野村證券　専務大阪駐在） 中野健二郎（京阪神ビルディング　会長） 角元　敬治（三井住友銀行　常務執行役員） 島　慶司（紀陽銀行　取締役常務執行役員大阪支店長） 沖津　嘉昭（岩井コスモ証券　会長CEO）☆ 村田真由美（永寿福祉会　理事長）☆
企業法制委員会 コーポレートガバナンスと中長期的な企業価値の向上に資する適正な企業法制（会計基準も含む）の検討・提言および普及啓発	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	和田　勇（積水ハウス　会長兼CEO） 米田　隆（西村あさひ法律事務所　代表パートナー） 佐藤　義雄（住友生命保険　会長） 三木　伸一（住友精密工業　社長） 串田　守可（栗本鐵工所　社長） 廣地　厚（グンゼ　社長） 古市　健（日本生命保険　副会長）☆ 伊藤雄二郎（三井住友銀行　副会長）☆ 成松　郁廣（川崎重工業　常務執行役員）☆ 井村　守宏（イムラ封筒　会長）☆
地方分権・広域行政委員会 地方分権・分権型道州制や地方創生の実現に向けた調査・提言、関西広域連合の発展支援と関西広域連携の推進	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	錢高　一善（錢高組　会長） 向井　利明（関電不動産開発　会長） 向原　潔（三井住友信託銀行　上席顧問） 小坂　肇（りそな銀行　専務執行役員西日本担当統括） 亀本　茂（カネカ　特別顧問） 山本　良一（J.フロント リテイリング　社長）☆ 加藤　好文（京阪ホールディングス　社長）☆
科学技術・イノベーション委員会 **［健康・医療専門委員会］** 健康・医療、航空機、環境・エネルギー産業をはじめとする次世代成長産業振興につながる科学技術・産業政策、人材育成のあり方など、第4次産業革命の実現に向けた産業イノベーションに関する総合的な推進	委員長 健康・医療専門委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	牧村　実（川崎重工業　顧問） 土屋　裕弘（田辺三菱製薬　会長） 松本　惠司（ハウス食品グループ本社　代表取締役専務） 池田　全德（日本触媒　会長） 生駒　昌夫（きんでん　会長） 鈴木　博之（丸一鋼管　会長兼CEO） 平田　康夫（国際電気通信基礎技術研究所　社長） 伊奈　功一（ダイハツ工業　相談役） 手代木　功（塩野義製薬　社長） 西原　克年（島津製作所　取締役専務執行役員） 秋野　啓一（日立製作所　関西支社長執行役員） 宮崎　智史（みずほ銀行　副頭取） 川邊　辰也（関西電気保安協会　理事長） 土井　義宏（関西電力　副社長） 五十川龍之（新明和工業　社長） 宮部　義幸（パナソニック　代表取締役専務）☆ 神崎　友次（日本コルマー　会長）
地球環境・エネルギー委員会 環境と経済の両立の観点からの地球温暖化対策やエネルギー政策への対応、「環境先進地域・関西」の発信と実践など、地球環境・エネルギーに関する総合的な方策の検討・提言、普及啓発	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	古川　実（日立造船　取締役相談役） 齊藤　紀彦（きんでん　相談役） 長　勇（椿本チエイン　会長兼CEO） 北川　慎介（三井物産　常務執行役員関西支社長） 廣田　康人（三菱商事　代表取締役常務執行役員関西支社長） 池田　雅信（エコトラック　社長）☆
国土・広域基盤委員会 **［リニア・北陸新幹線専門委員会］** 複眼型の国土形成、広域交通・物流基盤の整備・強化（リニア中央新幹線・北陸新幹線、高速道路、関西国際空港、阪神港等）、首都中枢機能バックアップへの取り組みや地域・企業の危機対応力向上	委員長 リニア・北陸新幹線専門委員長 副委員長兼リニア・北陸新幹線専門委員長代行 関空担当委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	大竹　伸一（西日本電信電話　相談役） 藤原　崇起（阪神電気鉄道　会長） 向井　利明（関電不動産開発　会長） 山中　諄（南海電気鉄道　会長） 向原　潔（三井住友信託銀行　上席顧問） 石塚　由成（西日本高速道路　社長） 藤原　正隆（大阪ガス　副社長） 幸　和範（阪神高速道路　社長）☆ 山谷　佳之（関西エアポート　社長）☆

委員会とその所管事項	委員長・担当委員長・専門委員長・副委員長	
都市・観光・文化委員会 **[都市創造専門委員会]** 関西の強みを官民一体で発信するための「KANSAIブランド」展開やインバウンド促進、うめきた2期開発プロジェクトやエリアマネジメントなど魅力ある都心づくり	委員長 都市創造専門委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	角　和夫（阪急電鉄　会長） 香川　次朗（関西電力　副社長） 鳥井　信吾（サントリーホールディングス　副会長） 小嶋　淳司（がんこフードサービス　会長） 福島　伸一（大阪国際会議場　社長） 坂上　和典（博報堂　特任顧問） 光山　清秀（JTB西日本　社長） 八木　隆史（電通　常務執行役員関西支社長） 難波　正人（竹中工務店　副社長） 田中　宏幸（吉本興業　代表取締役専務）☆ 伊藤雄二郎（三井住友銀行　副会長）☆ 緒方　文人（西日本旅客鉄道　取締役兼常務執行役員）☆ 中野　星子（日本航空　執行役員西日本地区支配人）☆ 小原　真一（オリックス　執行役員関西代表西日本営業本部長）☆ 新居　勇子（全日本空輸　上席執行役員関西支社長）☆
スポーツ振興委員会 関西のスポーツ振興および関連産業活性化に向けた戦略や産学官連携のあり方の検討、2019年～2021年に控えるゴールデン・スポーツイヤーズに向けたPR強化やレガシーの創出への支援	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	佐藤　廣士（神戸製鋼所　相談役）☆ 段谷　繁樹（双日　副会長）☆ ジュネジャ レカ（ロート製薬　副社長）☆ 遠山　敬史（パナソニック　常務取締役）☆ 松野　正人（新日鐵住金　常務執行役員大阪支社長）☆ 藤原　正隆（大阪ガス　副社長）☆ 安藤　亮（電通　執行役員）☆ 池田　良直（日本政策投資銀行　常務執行役員関西支店長）☆
国際委員会 アジアなど有望市場へのビジネス展開支援、グローバル人材育成支援、海外使節団・調査団の派遣、外国要人の受け入れ、経済連携推進など通商政策に関する調査研究・提言	委員長 交流担当委員長 交流担当委員長 交流担当委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	松下　正幸（パナソニック　副会長） 田嶋　英雄（コニカミノルタ　名誉顧問） 大林　剛郎（大林組　会長） 竹中　統一（竹中工務店　会長） 橋本　雅至（丸紅　執行役員大阪支社長） 植松　弘成（ダイキン工業　監査役） 廣冨　靖以（共英製鋼　副社長） 柳田　耕治（梓設計　常務取締役執行役員） 大橋　祥正（国際協力銀行　西日本総代表） 池田　誠（日本通運　執行役員関西ブロック地域総括兼大阪支店長） 深野　弘行（伊藤忠商事　常務執行役員社長補佐（関西担当）） 北川　慎介（三井物産　常務執行役員関西支社長） 井上　弘毅（住友商事　常務執行役員国内担当役員関西支社長） 廣田　康人（三菱商事　代表取締役常務執行役員関西支社長） 後藤　政郎（双日　常務執行役員） 牧野　正俊（大和総研　常務取締役調査本部長）☆ 井上　剛（第一稀元素化学工業　社長） 奥田　智（をくだ屋技研　常務取締役）
労働政策委員会 雇用・労働政策、労働法制に関する総合的な検討、中小企業が有する人事・労務課題の整理と解決支援	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	井狩　雅文（日本ネットワークサポート　社長） 小野　幸親（相互タクシー　社長） 前田　盛明（レンゴー　副社長） 古谷　裕子（北港運輸　社長） 種田　祐士（東洋紡　取締役常務執行役員） 森本　勝一（日立造船　常務執行役員業務管理本部長）☆ 松野　正人（新日鐵住金　常務執行役員大阪支社長）☆ 粟野　光章（髙島屋　常務取締役）☆ 島岡　秀和（丸島アクアシステム　社長）
グローバル人材育成・活用委員会 グローバル人材の育成・活用に関する総合的な検討・提言および実践活動の推進	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	小川　克己（淀川ヒューテック　社長） 長田　豊臣（立命館　理事長） 河内　幸枝（マロニー　社長） 久保　俊裕（クボタ　副社長） 稲付　嘉明（カワソーテクセル　社長）☆
震災復興支援担当 東日本大震災からの復興に向けた情報発信、他の経済団体等と連携した復興支援	― ―	坂上　和典（博報堂　特任顧問） 伊藤雄二郎（三井住友銀行　副会長）☆